



平成27年5月8日

各 位

株 式 会 社 関 門 海  
代表取締役社長 田中 正  
(コード番号：3372 東証マザーズ)  
問合せ先 経営支援部シニアマネージャー  
田淵 広宣  
電 話 番 号 06-6578-0029 (代表)

特別損失（減損損失）の計上及び通期連結業績予想の修正、  
個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成27年3月期第4四半期において、特別損失（減損損失）を下記のとおり計上しましたのでお知らせいたしますとともに平成26年5月15日に開示いたしました平成27年3月期の通期の業績予想について修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また個別業績につきまして、業績予想の開示を省略しておりましたが、前期実績値との対比においてその差異が開示基準に達する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の保有する固定資産のうち、将来の回収可能性を保守的に検討した結果、連結財務諸表および個別財務諸表におきまして新たに39百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

平成27年3月期通期業績予想の修正

連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	5,500	240	160	80	8.33
今回修正予想（B）	5,118	201	138	42	4.39
増減額（B－A）	△382	△39	△22	△38	—
増減率（％）	△6.9％	△16.1％	△13.3％	△47.2％	—
（ご参考）前期実績 （平成26年3月期）	5,275	128	59	△40	△4.37

なお、平成27年3月期（予想）の1株当たり連結当期純利益は、平成26年9月30日を払込期日とする第三者割当増資による発行株式数（582,300株）および当連結累計期間における新株予約権の行使による発行株式数（17,600株）を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。

### 3. 業績予想修正の理由

連結売上高につきましては、店舗売上高の伸張が当初予想を下回ったことや連結子会社である関門福楽館の関門橋工事等に起因する売上不振等もあり、連結売上高は前回業績予想を 382 百万円下回る 5,118 百万円となる見込みであります。一方、営業利益は、原価率の改善や変動費の見直し等直営店舗の収益性回復を図りましたが、関門福楽館の不振の影響は大きくその結果、前回業績予想を 39 百万円下回る 201 百万円、また、連結営業利益の未達に伴い連結経常利益も前回業績予想を 22 百万円下回る 138 百万円となる見込みであります。なお、上記記載の特別損失を含め減損損失 87 百万円を計上すること等により連結当期純利益は、前回業績予想を 38 百万円下回る 42 百万円となる見込みであります。

### 4. 平成 27 年 3 月期（通期）個別実績速報値と前期実績値との差異（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績数値（A）	4,369	149	88	△50	△5.47
今回実績速報値（B）	4,387	220	170	65	6.77
増減額（B－A）	18	71	81	115	—
増減率（％）	0.4％	48.0％	92.4％	—	—

なお、平成 27 年 3 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、平成 26 年 9 月 30 日を払込期日とする第三者割当増資による発行株式数（582,300 株）および当事業年度における新株予約権の行使による発行株式数（17,600 株）を含めた予定期中平均発行株式数により算出しております。

### 5. 差異の理由

個別の業績につきましては、直営店舗の収益性回復への取り組み強化等を図ったことにより、営業利益、経常利益、当期純利益それぞれについて前期実績値を上回る見込みとなったためであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上